

令和4年度大阪府立富田林支援学校 第三回学校運営協議会【会議録】

日 時 令和5年2月20日（月）

- 次 第
- 1 開会のあいさつ
 - 2 協議
 - (1) 中学部3年生、高等部3年生進路状況について
 - (2) みんなのアンケート（学校教育自己診断）について
 - (3) 令和4年度学校経営計画評価について
 - (4) 令和5年度学校経営計画について
 - 3 閉会あいさつ

委員及び事務局

委員

	名 前	役職等
1	松久 眞美	桃山学院教育大学教育学部 教授
2	前田 裕子	富田林支援学校 PTA 会長
3	川崎 大輔	富田林市立東条小学校長
4	眞田 政稔	こんごう福祉センターしいのき・すぎのき寮長
5	葛井 展子	社会福祉法人桃花塾児童部施設長
6	入江 真矢	南河内南障害者就業・生活支援センター長

事務局

	名 前	役職等
1	岡本 泰宜	校長
2	和田 好春	准校長
3	伊藤 弓子	教頭
4	大巻 雅彦	教頭
5	中田 浩	事務長
6	増田 慎太郎	首席・高等部主事
7	下井 智史	首席・防災 PT 担当
8	関田 涉	首席・中学部主事
9	竹内 惇	首席
10	油井 優子	指導教諭・小学部主事

1 開会のあいさつ

- ・岡本校長より開会のあいさつ

2 協 議

(1) 中学部3年生、高等部3年生進路状況について

中学部3年生の進路状況について関田首席より説明

高等部3年生の進路状況について増田首席より説明

【委員より】就職率については、例年と比較してどのような変化があったか。

→就職率については、大きな変化は無いが、就職希望者にとっては、新型コロナウイルス感染症の影響で実習等が実施できなかった企業での実習ができるようになったり、大阪府、大阪市等に就労したりと選択の幅は、広がった。

(2) みんなのアンケート（学校教育自己診断）について

学校教育自己診断（保護者用）について下井首席より説明

【委員より】アンケートの実施方法について簡易に回答できる Google フォーム等の活用を検討してはどうか

【委員より】アンケートの回収率の低さが気になる。Google フォームに変更すると未提出家庭への呼びかけ等がしにくくなり、回答率は下がる傾向にある。Google フォームを使う場合は、一斉メールを活用する等回答を促す方法を検討する必要がある。

【委員より】肯定率が低い設問については、学校として改善が必要ではないか

【委員より】小中学部に比べると高等部では、否定的な評価が多い。高等部は子どもたちの自主性を伸ばすため、可能な生徒は自分で連絡帳を書いているが保護者は子どもの状況を先生から伝えてほしいという気持ちもあり、学校と保護者の思いに差があることが評価に表れているのではないか。

【岡本校長】全体的に高評価をいただいているが、無回答の項目についてアンケート用紙の形式や質問内容について検討する必要性を感じている。

学校教育自己診断（教員用）について下井首席より説明

【委員より】「気軽に相談しあえる人間関係」について否定的な評価が10%以上ある。児童・生徒の状況もあり大変な様子もあるが担任間で情報共有や相談することで解消されることもあるのではないか。

【委員より】「校医・福祉人材の相談体制」について否定的な評価が10%以上ある。活用状況はどうなっているか。

→校医（精神科、整形外科）による相談、福祉医療等人材（臨床心理士、理学療法士、言語聴覚士）による相談を実施している。

(3) 令和4年度学校経営計画評価について

令和4年度学校経営計画評価について岡本校長より説明

令和4年度学校経営計画評価（高等部）について和田准校長より説明

(4) 令和5年度学校経営計画について

令和5年度学校経営計画について岡本校長より説明

令和5年度学校経営計画（高等部）について和田准校長より説明

【委員より】進路に向けた福祉懇談会の実施の時期について

→高等部2年生の2学期に実施している。

【委員より】ICTの活用について今後どのように考えているか。

→ICTの活用については校内でGIGAスクール構想委員会を中心に検討を進めている。本年度は、1人1台端末の持ち帰り、Googleアカウントの配付に向けた準備等を行った。

令和5年度学校経営計画について承認された

3 閉会のあいさつ

・和田准校長より閉会のあいさつ